

143円台を突破した米ドル円の今後

シニア・ストラテジスト 石黒英之



ポイント① 1998年以來の円安米ドル高

9月6日の欧米の外国為替市場で円は対米ドルで下落基調が強まり、日本時間の7日朝には一時143円55銭（Bloomberg）と1998年8月以來の円安水準となりました（右上図）。背景には、①6日に豪州準備銀行（中央銀行）が0.5%の利上げを決めたこと、②同日発表の8月の米ISM（サプライマネジメント協会）非製造業景況感指数が前月から上昇し、FRBの大幅利上げ観測が高まったこと、③今週ECB（欧州中央銀行）やカナダ銀行（中央銀行）が大幅利上げを行なう可能性が高まっていること、などがあるとみられます。

金融緩和を続ける日銀と金融引き締めを急ぐ主要中銀との金融政策の方向性の違いから、幅広い通貨に対し、円安が進んでいます。

ポイント② 米ドル円は98年高値147円台試す

FRBは来年半ばにかけて、FF（フェデラル・ファンド）金利を現在の水準から約1.6%程度引き上げると市場では予想されており、利上げ局面の長期化の観点から米ドル高基調は当面続く可能性があります。

また、9月からFRBが月額950億米ドルペースで保有資産残高を縮小する、いわゆる「QT（量的引き締め）」を本格化させることも、米国の金利先高観につながるとみられ、円安米ドル高をサポートする要因として意識されます（右下図）。

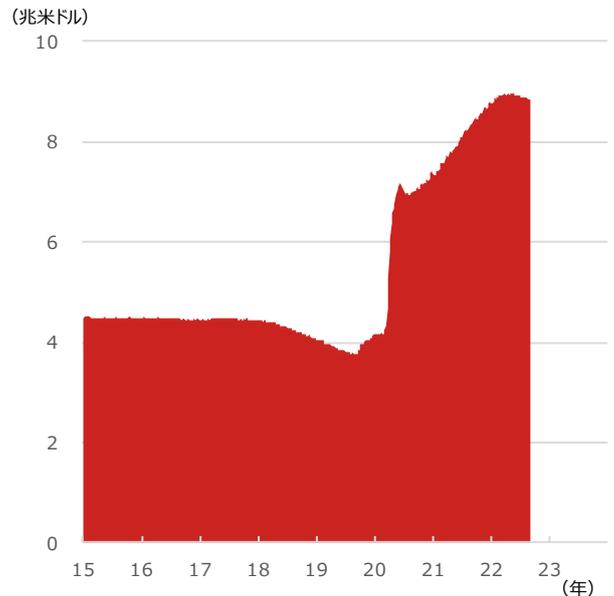
主要通貨に対する米ドルの実力を示す「ドル指数」は110と約20年ぶりの水準にまで上昇していますが、2002年前後には120をつけており、米ドルの上値余地は依然残されているとみられます。米ドル円は1998年高値の147円台を試す展開となりそうです。

円の対米ドル相場



期間：1997年1月2日～2022年9月7日（日本時間午前8時時点）、日次（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

FRB（米連邦準備制度理事会）の総資産



期間：2015年1月2日～2022年9月2日、週次
・2022年9月以降は月額950億米ドルペースで保有資産残高を縮小する方針（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一見解ではないものもあります。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。